



## 2021年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年12月11日

上場会社名 株式会社SKIYAKI 上場取引所 東  
 コード番号 3995 URL https://skiyaki.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小久保 知洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 酒井 真也 TEL 03 (5428) 8378  
 四半期報告書提出予定日 2020年12月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年1月期第3四半期の連結業績（2020年2月1日～2020年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期第3四半期	3,698	4.1	160	83.7	147	80.9	67	68.5
2020年1月期第3四半期	3,552	26.0	87	△20.5	81	△15.5	40	11.9

(注) 包括利益 2021年1月期第3四半期 46百万円 (36.5%) 2020年1月期第3四半期 33百万円 (0.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年1月期第3四半期	6.31	6.29
2020年1月期第3四半期	3.81	3.77

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年1月期第3四半期	4,584	1,075	23.2
2020年1月期	3,140	1,018	31.5

(参考) 自己資本 2021年1月期第3四半期 1,065百万円 2020年1月期 990百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年1月期	—	0.00	—	—	—
2021年1月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年1月期の連結業績予想（2020年2月1日～2021年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,950	1.0	150	50.2	120	377.4	35	—	3.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年1月期3Q	10,725,000株	2020年1月期	10,687,000株
② 期末自己株式数	2021年1月期3Q	260株	2020年1月期	260株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年1月期3Q	10,706,296株	2020年1月期3Q	10,526,240株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	5
第3四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大に伴い急速に景況感が悪化しており、未だ収束の見通しも立っておらず、今後の動向は極めて不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、アーティストに係るファンクラブ（以下「FC」という。）サービス、アーティストグッズ等のECサービスの取扱いアーティスト数及び提供サービス数を増やし、取引規模を堅調に拡大させて参りました。さらに、オープン型のファンメディアプラットフォームである「Bitfan」の新機能を順次リリースするなど、コロナ禍においても当社が提供するプラットフォームの拡充及び更なる付加価値向上に継続して取り組んでおります。

これらの事業展開により、2020年10月末日現在における当社グループが提供するプラットフォームの総登録会員数は、363.4万人（前年同四半期比24.5%増）となりました。また、総登録会員数のうち有料会員数は、83.3万人（同4.6%増）となっております。

COVID-19の感染拡大により、ライブ制作を含むO2O事業において複数のライブ及びイベントの中止又は延期を余儀なくされ、O2O事業の売上高が前年同四半期比で78.7%減と大きく減少した一方で、多くのアーティストがオンラインでのグッズ販売を強化した影響もあり、ECサービスの売上高が前年同四半期比で141.7%と大幅に増加し、当第3四半期連結累計期間では過去最高のECサービスの売上高を計上するなど、プラットフォーム事業では売上高が31.8%増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,698,339千円（前年同四半期比4.1%増）、営業利益160,525千円（同83.7%増）、経常利益147,736千円（同80.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益67,587千円（同68.5%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である株式会社SKIYAKI LIVE PRODUCTIONを存続会社とし、同じく当社の連結子会社である株式会社SKIYAKI APPSを消滅会社とする吸収合併を実施し、両社の行っていた事業を「O2O事業」として統合したことにより、報告セグメントを従来の「プラットフォーム事業」、「ライブ制作事業」及び「O2O事業」の3区分から、「プラットフォーム事業」及び「O2O事業」の2区分に変更しております。また、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

## ①プラットフォーム事業

FCサービスは、有料会員より毎月又は毎年受領するファンクラブ会費を売上高に計上するストック型ビジネスであり、安定的かつ継続的な収入が見込まれるという特性を有しております。当第3四半期連結累計期間においては、サービス数及び有料会員数の増加により、FCサービスの売上高は2,456,075千円（前年同四半期比11.8%増）となりました。なお、FCサービスは、売上高を総額計上しております。当該売上高の増加に伴い、プロダクション向けロイヤリティ（売上原価）及び決済代行会社向け回収手数料（販売費及び一般管理費）等の変動費が増加しました。

ECサービスは、アーティストによるツアー実施等の活動の有無により商品の出荷時期及び出荷金額が大きく変動する特性があり、ストック型ビジネスであるFCサービスと比較して、四半期ごとの売上高の変動性が大きくなる傾向にあります。当第3四半期連結累計期間においては、サービス数の増加に加えて、全国的なライブ・イベントの自粛に伴い多くのアーティストがオンラインでのグッズ販売を強化した影響もあり、出荷金額が前年同四半期比で大幅に増加したことにより、ECサービスの売上高は931,937千円（同141.7%増）となりました。なお、ECサービスは、当社が受領する販売手数料収入を売上高として純額計上しております。

その他の売上高は、SKIYAKI TICKET、オープン型のBitfan等のサービス提供、その他上記に含まれないサービスに係るシステム提供、サイト構築及び運営業務の受託等により、100,672千円（同57.1%増）となりました。

その他、人員増及び昇給に伴う人件費の増加等により、販売費及び一般管理費が増加しました。

この結果、売上高3,488,685千円（同31.8%増）、セグメント利益293,898千円（同137.1%増）となりました。

## ②O2O事業

O2O事業は、その事業の一部としてライブ・コンサート制作を行っているため、アーティストによるコンサートやツアーの実施時期により売上高が大きく変動する特性があり、ECサービスと同様に、四半期ごとの売上高の変動性が大きくなる傾向にあります。

当第3四半期連結累計期間は、COVID-19の感染拡大に伴うライブ・コンサートの中止又は延期の影響によりライブ制作収入が大幅に減少し、売上高は184,207千円（前年同四半期比78.7%減）となりました。

セグメント利益は、上述のライブ制作に係る売上高の減少の影響により、売上原価及び人件費を中心とした販売費及び一般管理費を控除した結果、セグメント損失△119,366千円（前年同四半期はセグメント損失△39,846千円）となりました。

## ③その他事業

その他事業は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社である株式会社ロックガレージにおける旅行・ツアー事業、株式会社SEA Globalにおけるスポーツマーケティング事業、SKIYAKI 65 Pte. Ltd. (シンガポール) 及びSKIYAKI 82 Inc. (韓国) の2社が行う海外におけるプラットフォーム事業等であります。

当第3四半期連結累計期間は、COVID-19の感染拡大に伴うファンクラブ旅行の中止等による旅行パッケージ販売収入の減少、自社メディアの広告収入及びスポーツコンサルティング収入等の減少に加え、人件費及びのれん償却額を中心とした先行投資費用の発生により、販売費及び一般管理費が増加しました。

この結果、売上高25,447千円(同37.4%減)、セグメント損失△34,009千円(前年同四半期はセグメント損失△6,377千円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は4,584,534千円となり、前連結会計年度末に比べ1,443,564千円増加しました。

流動資産については、主に金融機関からの借入れ及びECサービスに係る預り金の増加等による現金及び預金の増加1,475,987千円、売掛金の回収による減少34,426千円、前払費用(主にプロダクション等へ支払う前払ロイヤリティ)の減少7,541千円等により、前連結会計年度末に比べ1,411,888千円増加し、4,263,022千円となりました。

固定資産については、有形固定資産が44,612千円、無形固定資産が39,958千円、投資その他の資産が236,940千円となり、前連結会計年度末に比べ31,676千円増加し、321,511千円となりました。これは主に、本社オフィス増床等に伴う有形固定資産の増加29,327千円、投資有価証券の取得による増加50,083千円、持分法による投資損失の計上に伴う投資有価証券の減少28,388千円、無形固定資産の償却による減少5,065千円、長期前払費用の償却による減少10,892千円等によるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、3,509,346千円と前連結会計年度末に比べ1,386,993千円増加しました。

流動負債については、金融機関からの借入れによる短期借入金の増加500,000千円及び1年内返済予定の長期借入金の増加145,884千円、ECサービス等に係る買掛金の減少72,561千円、主に年会費FCに係る前受収益の減少11,472千円、主にECサービスの売上増に伴うプロダクション向け預り金の増加250,199千円等により、前連結会計年度末に比べ910,251千円増加し、3,023,617千円となりました。

固定負債については、主に金融機関からの借入れによる長期借入金の増加により、前連結会計年度末に比べ476,741千円増加し、485,728千円となりました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ56,571千円増加し、1,075,188千円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加67,587千円、非支配株主持分の減少18,822千円、連結子会社同士の合併に伴う資本剰余金の減少1,530千円、在外連結子会社に係る為替換算調整勘定の減少848千円、譲渡制限付株式の発行による資本金及び資本準備金の増加9,275千円、ストック・オプションの行使による資本金及び資本準備金の増加910千円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、当第3四半期連結累計期間における連結業績が計画比でやや上方に乖離しているものの、COVID-19の影響の長期化により今後の状況が不透明であること、第4四半期連結会計期間における関係会社の業績の状況等によっては、のれんに係る減損損失又は持分法による投資損失を計上しなければならない可能性があること等を考慮すると、今後期末までの間に連結業績が計画比で下方に乖離するリスクが相当に存在するため、当第3四半期連結会計期間末においては、2020年9月11日付の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した通期の連結業績予想の修正を行わないことといたしました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,600,092	3,076,080
売掛金	621,383	586,957
商品	2,565	1,412
前払費用	472,582	465,040
その他	203,732	186,581
貸倒引当金	△49,223	△53,048
流動資産合計	2,851,134	4,263,022
固定資産		
有形固定資産	15,284	44,612
無形固定資産	47,796	39,958
投資その他の資産	226,753	236,940
固定資産合計	289,835	321,511
資産合計	3,140,969	4,584,534
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	567,482	494,920
短期借入金	—	500,000
1年内返済予定の長期借入金	3,648	149,532
未払法人税等	48,183	104,191
預り金	796,985	1,047,185
前受収益	530,551	519,079
その他	166,514	208,708
流動負債合計	2,113,366	3,023,617
固定負債		
長期借入金	8,986	485,728
固定負債合計	8,986	485,728
負債合計	2,122,353	3,509,346
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	577,591	582,683
資本剰余金	550,597	554,159
利益剰余金	△135,633	△68,045
自己株式	△346	△346
株主資本合計	992,208	1,068,450
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,905	△2,754
その他の包括利益累計額合計	△1,905	△2,754
非支配株主持分	28,313	9,491
純資産合計	1,018,616	1,075,188
負債純資産合計	3,140,969	4,584,534

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)
売上高	3,552,691	3,698,339
売上原価	2,533,639	2,427,736
売上総利益	1,019,051	1,270,602
販売費及び一般管理費	931,679	1,110,076
営業利益	87,372	160,525
営業外収益		
受取利息及び配当金	16	33
受取家賃	180	15,767
受取補償金	—	6,000
還付消費税等	9,557	—
その他	2,264	867
営業外収益合計	12,018	22,668
営業外費用		
支払利息	53	5,357
持分法による投資損失	16,414	28,388
その他	1,260	1,711
営業外費用合計	17,728	35,458
経常利益	81,662	147,736
特別利益		
持分変動利益	3,343	—
特別利益合計	3,343	—
税金等調整前四半期純利益	85,005	147,736
法人税、住民税及び事業税	56,087	105,052
法人税等調整額	△5,071	△4,187
法人税等合計	51,016	100,864
四半期純利益	33,989	46,871
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,120	△20,716
親会社株主に帰属する四半期純利益	40,109	67,587

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)
四半期純利益	33,989	46,871
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	△484
その他の包括利益合計	—	△484
四半期包括利益	33,989	46,386
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	40,109	66,739
非支配株主に係る四半期包括利益	△6,120	△20,352

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他事業 (注)	合計
	プラットフォーム事業	020事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,647,293	864,765	3,512,059	40,631	3,552,691
セグメント間の内部売上高 又は振替高	90	—	90	4,333	4,423
計	2,647,383	864,765	3,512,149	44,965	3,557,114
セグメント利益又は損失(△)	123,963	△39,846	84,117	△6,377	77,739

(注) 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社における旅行・ツアー事業及びスポーツマーケティング事業等であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	84,117
その他事業の利益又は損失(△)	△6,377
セグメント間取引消去	9,632
四半期連結損益計算書の営業利益	87,372



## II 当第3四半期連結累計期間（自 2020年2月1日 至 2020年10月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他事業 (注)	合計
	プラットフォーム事業	020事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,488,685	184,207	3,672,892	25,447	3,698,339
セグメント間の内部売上高 又は振替高	180	77	257	4,317	4,574
計	3,488,865	184,284	3,673,149	29,764	3,702,914
セグメント利益又は損失(△)	293,898	△119,366	174,531	△34,009	140,522

(注) 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社における旅行・ツアー事業及びスポーツマーケティング事業等であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	174,531
その他事業の利益又は損失(△)	△34,009
セグメント間取引消去	20,003
四半期連結損益計算書の営業利益	160,525

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である㈱SKIYAKI LIVE PRODUCTIONを存続会社とし、同じく当社の連結子会社である㈱SKIYAKI APPSを消滅会社とする吸収合併を実施し、両社の行っていた事業を「020事業」として統合したことにより、報告セグメントを従来の「プラットフォーム事業」、「ライブ制作事業」及び「020事業」の3区分から、「プラットフォーム事業」及び「020事業」の2区分に変更しております。これに伴い、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。